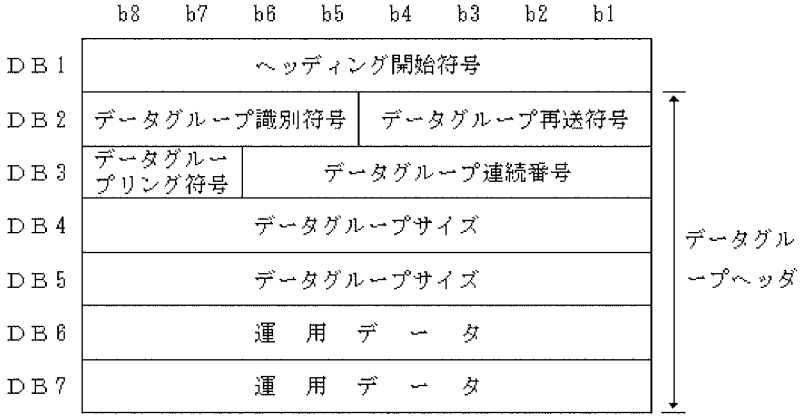
6　開始符号及び終了符号は、次のとおりとする。

符号	列番号／行番号
ヘッディング開始符号　（ＳＯＨ）	00／１
テキスト開始符号　（ＳＴＸ）	00／２
テキスト終結符号　（ＥＴＸ）	00／３
伝送終了符号　（ＥＯＴ）	00／４
伝送ブロック終結符号　（ＥＴＢ）	01／７

列番号／行番号の表記方法は、列番号を上位の４ビット、行番号を下位の４ビットとする２進値による。以下別表において同じ。

別表第三号　データグループヘッダの構成及び送出手順



注１　ＤＢは、データグループ内のバイトを示し、送出順にＤＢ１、ＤＢ２、ＤＢ３……とする。以下別表において同じ。

２　データグループ識別符号は、データグループの種別を２進値により示すものとし、番組管理データ又はページデータの場合は「０」とし、番組索引データの場合は「15」とする。

３　データグループ再送符号は、データグループ再送機能を有している場合において、同一の内容を持つデータグループを連続して再送する場合、何回目のデータグループであるかを２進値により１から15までの数値で示す。ただし、再送しない場合は「０」とする。

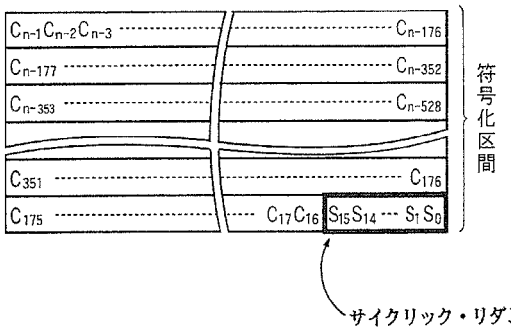
４　データグループリンク符号は、サービス識別符号及びデータグループ識別符号が同一である後続の異なる内容のデータグループとの連結の有無を示すものとし、連結がある場合は「１」とし、ない場合は「０」とする。

５　データグループ連続番号は、連結するデータグループの順序を２進値により示し、０から127までの数値で示す。後続のデータグループとの連結がない場合は「０」とする。

６　データグループサイズは、ＤＢ４を上位８桁、ＤＢ５を下位８桁とした２進値によりそのデータグループ内のデータブロック数を示す。

７　運用データは、地上基幹放送局を用いて行う標準テレビジョン放送（デジタル放送を除く。）の運用上必要な場合に使用する。

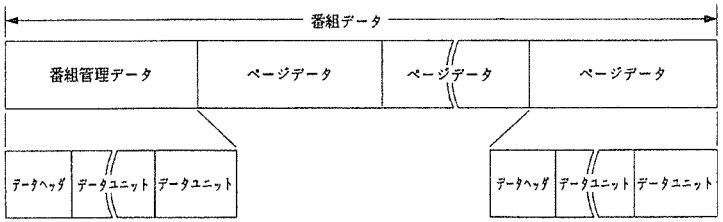
別表第四号　サイクリック・リダンダンシー・チェック符号



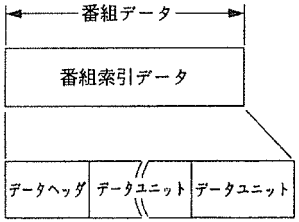
注　$S_{15}S_{14}$……S_1S_0の値は、誤り検出の符号化区間（データグループを構成する単位の開始符号から終了符号までの区間をいう。）の情報ビット数をｎ－16とするとき、情報ビットの値を順次、多項式$C_{n-1}X^{n-1}+C_{n-2}X^{n-2}+\cdots+C_{16}X^{16}$の各項の係数値とし、この多項式を生成多項式G'（X）＝$X^{16}+X^{12}+X^5+1$で除した剰余の多項式$S_{15}X^{15}+S_{14}X^{14}+\cdots\cdots+S_0X^0$の各項の係数値とする。

別表第五号　番組データの構成

１　番組管理データ及びページデータにより構成されるもの



２　番組索引データにより構成されるもの



注１　番組管理データ、ページデータ及び番組索引データは、データヘッダ単独の場合がある。

２　データユニットの数は、一の場合がある。

３　一括形番組（文字放送の番組の全データを受信した後、一括して利用する形態の番組をいう。以下別表において同じ。）の番組データは、最大300又は最大1,200のデータパケットにより構成される。

４　非一括形番組（一括形番組以外の形態の番組をいう。以下別表において同じ。）の一のページデータは、最大300又は最大1,200のデータパケットにより構成される。ただし、この場合、最初のページは番組管理データのデータとの合計が最大300又は最大1,200のデータパケットとする。